

骨密度検査依頼について

当院では、さらなる地域医療機関との連携強化のため、DXA法による骨密度測定器の共同利用を開始することといたしましたので、ご案内申し上げます。

骨粗鬆症に伴う脆弱性骨折は年々増加しております。特に大腿骨近位部骨折は受傷後に著しくQOLが低下し、受傷1年以内に死亡する割合は10%と報告されており、大きな社会問題となっております。本邦では、約1,300万人の骨粗鬆症患者が存在すると推定されておりますが、薬物治療を受けている患者はわずか2割しかいないのが現状です。

当院では、多職種（医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士・放射線技師）で骨粗鬆症患者に介入することで薬物治療を開始し、骨折予防を推進させる活動、骨粗鬆症リエゾンサービスを2017年より開始しました。骨粗鬆症治療は、骨粗鬆症自体が症状として自覚しにくいことや、薬物投与方法の煩雑さなどから、薬物治療が途絶えてしまうということが大きな問題点となっております。骨密度検査は、治療開始の判断にはもちろんのこと、治療効果の判定を行い、これを患者さんにフィードバックすることで、患者さん自身の治療継続への意欲亢進につながります。地域医療機関の先生方におかれましては、当院の骨密度測定器を有効利用していただき、地域全体の骨粗鬆症加療率が向上することにお役立ていただければ幸いに存じます。

つきましては、地域医療連携室へまずは電話にてご連絡いただき、別紙の依頼用紙に必要事項を記入し、FAXをいただきましたら結構でございます。検査依頼用紙等は、当院ホームページ医療関係者向け情報の地域医療連携室からダウンロードしていただけます。ご不明な点があれば、下記連絡先にご連絡をお願い申し上げます。

2020年8月

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター 地域連携室

地域医療連携室直通 TEL (076) 262-4187

地域医療連携室直通 FAX (076) 262-4188

E-mail : renkeishitsu@mail.hosp.go.jp